

---

# そして世界が終わった頃に.....another・episode

モンスター

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

そして世界が終わった頃に…… another・episode

### 【Nコード】

N6345Z

### 【作者名】

モンスター

### 【あらすじ】

大晦日のあの日……世界中にゾンビが出現し急速に人類は破滅に進む……

これは「そして世界が終わった頃に……」の外伝です。

## プロローグ（前書き）

外伝作ちゃった……

## プロローグ

12月31日・大阪

銃弾が次々と敵を倒していく。

俺……黒崎一志は、たった一人で敵を倒していった。

俺のことを銃を使っている事から自衛官か警官と思うだろうがそれは違う……

なぜなら俺は普通の学生だからだ。

敵の腹を銃弾が貫いた……だが敵は倒れるどころか何もなかった様に近づいてきた。

俺が戦っている敵は人間ではない……動く死体だ……

（クソ……もう持たない……なら逃げるか……）

急いで回れ右して走り出した。

道路はもの凄い血の匂いがした。

なぜこんなことになったかというそれは次に話そう……今は逃げる方が先だからな。

## プロローグ（後書き）

御意見、御感想、御待しております。

終わりは突然やって来る……

大阪府 大阪市 12月31日 AM8時

いつもと同じ、少し寒い朝が来た。

窓からさす朝の光に起こされた俺……高校生の黒崎祐樹はベッドから出た。

部屋には机、椅子、ベッドが置かれ本棚やその他もろもろ……のごく普通の高校生の部屋だが一つその場に似合わないものがある。

それは、一つの収納棚に入っている。

中には……米軍も採用している銃、M16A2と呼ばれるアサルトライフルとその弾薬、グロック17と呼ばれる拳銃とその弾薬が置かれている。

なぜ一般市民がそのような物を持っているかというところには分けがある。

まず父と母が元自衛官で幼い頃から自分もそういう訓練を受けている。

そして祖父はある大会社の重役、政府要人や自衛隊のお偉いさんまで多数のコネを持っている。

そして俺たち家族は祖父の家に住んでいる。

家は貴重品ばかりで（俺の部屋を除く）以前強盗に狙われた為（母と父に捕まえられた）念の為各部屋に銃を隠してあるのだ。

服を着替え部屋を出て真っ直ぐに食卓に向かった。

家には今、俺だけが居て祖父と両親は外国に旅行中だ。

普段なら食事は母が作るのだが今日は居ないため自分で作るしか無かった。

ともかく何度か失敗しながらもベーコンエッグを作った。  
味については語らないでおこう……

食べ終わると外に行く準備を始めた。

どこに行くかって？ 俺の通う高校だよ。

理由は宿題を忘れたからだ。

ともかく家を出て自転車に乗った。

そして高校へと向かった。

A M 9 時 高校前

（はあ、やっと着いた。幾らなんでも遠すぎだろ）

20、30分もかけて高校に着いたがよく考えると今日は大晦日、  
高校は閉まっている。

（やられた……）

とりあえず宿題の事は忘れ家へ帰り始めた。

（クソ、無駄足だったじゃねーか）

A M 9 時 10 分

ふとペダルをこぐのを止めた。道路に人だかりが出来ていたからだ。  
気になって見に行くことにした。

「どうしたんですか？」

近くにいた中年の男性に声をかけた。

「それが……そこにマンションがあるだろ。どうやらそこから飛び

降り自殺したらしい」

丁度その時サイレントともに救急車がやって来た。

人をかき分けて中心に行くと頭から血を流した女性が倒れていた。

その周りは女性の血で水たまりの様になっている……

救急隊員が人をかき分け進んできた。

「どいてください」

群衆を下がらせ脈を測り始めた。

「脈がない」

救急隊員がそう言った瞬間、女性が目を開けた。

「大丈夫ですか？」

隊員が言つと女性は上半身を起こしその隊員の方を見た。

嫌な予感がした……

次の瞬間女性が隊員の喉に喰らいついた。

隊員の首から噴水のように鮮血が飛び散り……辺りは悲鳴で包まれた

……



終わりは突然やって来る……（後書き）

ご意見、ご感想、お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6345z/>

---

そして世界が終わった頃に.....another・episode

2011年12月25日17時52分発行